

2012 Expert Collection

2月号 通巻第 329号



株式会社

エキスパート・オブ・ジャパン

我社の商品はすべて **Made in Japan** 表示をしています。

〒334-0062 埼玉県川口市榛松 699

TEL 048 (281) 1322 FAX 048 (286) 0866

http://www.exp-japan.jp e-mail: exp.offjapan@jasmine.ocn.ne.jp

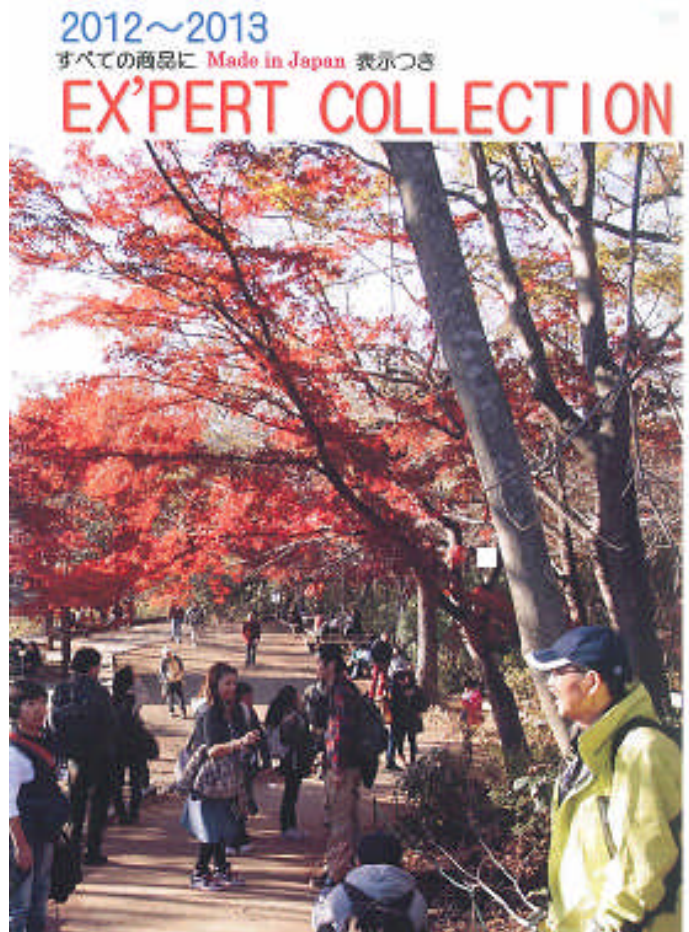
2012~2013 EX'PERT COLLECTION

新カタログ 発行のお知らせ

弊社のカタログは電子カタログです。通常の印刷カタログに比べると1冊のコストが割高(電子出版では1冊300円)になります。しかし、説明文や写真を差換えられる長所があります。それらを活用すれば常時、最新版のカタログが発行できます。

新カタログの表紙写真は2011年11月25日の高尾山山頂のスナップを採用しました。「やまのかたりべ 第15章参照」石井と二人の京子さんも写っています。撮影者は八王子在住の友人、渋谷雅弘です。紅葉が絵になる山頂風景を新カタログの表紙に飾らせてもらいました。

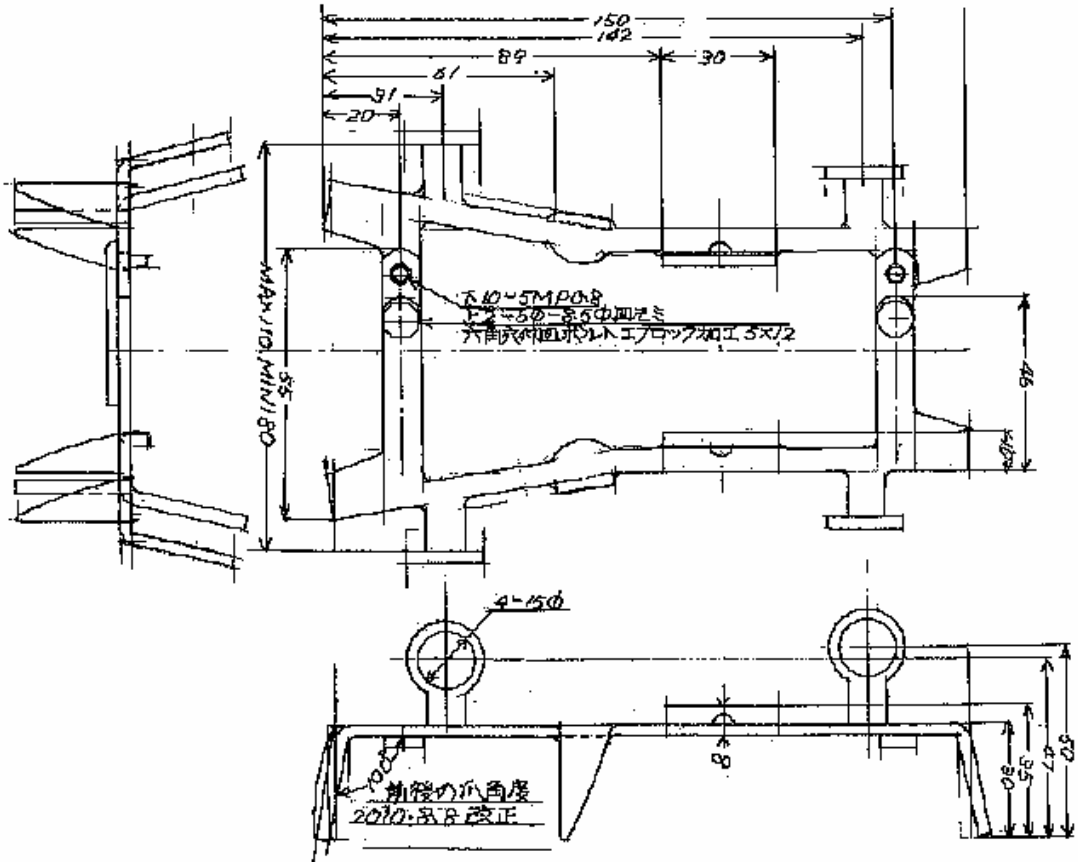
2012年1月5日以降の出荷時には新カタログを1店につき、1部ずつ同送させていただきます。



年末年始のお知らせ

平成23年12月30日(金)から平成24年1月4日(水)の間、休みとさせていただきます。

伝統のニッポン
リトルベア set (ST9) 商品紹介



【特長】

- 世界で初めて研究開発された6本爪軽アイゼン。トレッキングシューズを含むあらゆる靴にジャストフィットします。アイゼン爪角度の発明特許商品。
- 最高級の世界唯一のクロモリ鋼製。日本が誇の先端の焼入れ、塗装をほどこした自慢の商品。世界最軽量。コンパクトサイズ。着脱時間はワンタッチアイゼンに劣らず。装着感も勝れる秀作です。



リトルベア set (ST9)

サイズ/168 mm × 110 mm。爪高 31 mm。重量/505g。
 クロモリ鋼製/黒色電着塗装。税込価格/¥9,450

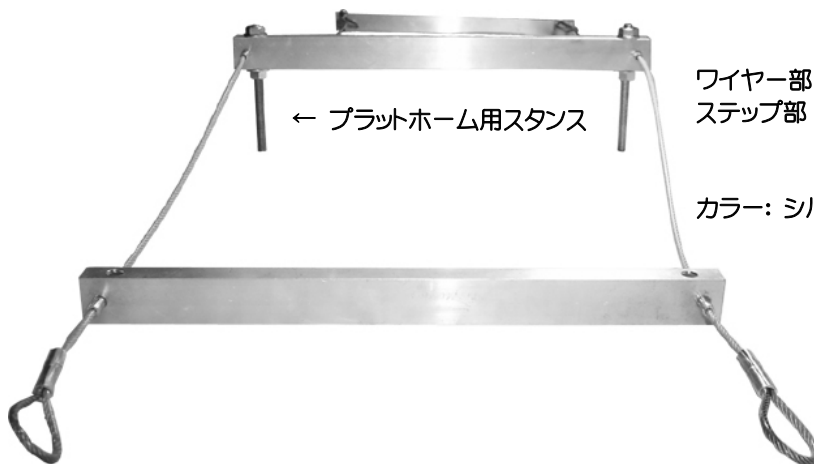
強力型ワイヤー梯子 (CL18)

従来のワイヤー梯子は3φ(直径)のワイヤーロープ製です。最大荷重200kg以上に耐えられる強力型ワイヤー梯子も生産可能です。

- ワイヤーはSUS304-7×19×6φ(直径)。強度241 KN。
- スタンス アルミ角パイプ引抜管、厚さ2.5t×30×60-320幅
- プラットホームは従来品同様、必要部に取付可能。その他の仕様は従来品と同じ。重量はほぼ倍。
- 長さ5M、10M、20M。
- 納期 受注後1ヶ月。
- 納品価格は別途見積りさせていただきます。

ワイヤー梯子 (CL15・16)

- 本来は登山用に開発されたものですが、近頃は土木工事用の需要が圧倒的に多い。地震、火事などの災害時の避難用にも役立ちます。
- ワイヤー梯子はカラビナによって連結できます。例えば、全長100mのワイヤー梯子を作れます。
- スタンスは両足を一度に乗せられる幅広です。間隔300mm。
- 1250mm間隔にプラットホームボルトをつけることができます。プラットホームボルトを付けるとワイヤー梯子が壁に密着しません。足を乗せやすくなります。安定感も増します。
- ワイヤーは火災に耐えられるステンレス(SUS304)製。3mm径。強度7.02KN(715.84kg)。
- ワイヤーはナイロンコーティングされています。ワイヤーを素手で握っても痛くありません。
- 軽くてコンパクトです。ロープなどでワイヤー梯子を収納すると持ち運びに便利です。



ワイヤー部 : ステンレス(SUS304)製
ステップ部 : アルミ製角パイプ、
1.5mm厚×高さ15mm×巾25mm
×長さ320mm
カラー: シルバー

サイズ	プラットホーム本数	総重量	税込価格
5Mモデル(CL15) 15段	6本	2.2kg	¥75,075
10Mモデル(CL16) 30段	14本	4.35kg	¥98,175

※ワイヤー梯子は受注生産品です。納品には受注後約1ヶ月を要します。

※特注品(ご希望のサイズ)も受注できます。(別途見積り)

マスターフック (ST27)

完売につき、廃版とさせていただきます。マスターフックはカタログから抹消します。
ありがとうございました。

アイゼンシリーズ修理規定

平成24年1月5日記

品名	税抜上代 (円)	品名	税抜上代 (円)
社式ワイヤー(工賃込み)	2,500	美錠付バンド	1組 1,750
工賃	2,000	プチドラゴン用固定バンド	1組 2,400
出荷時のジョイント交換	無料	4P、5P用スノープレート	960
リトルベア用スパナ	1ヶ 300	6P、リトルベア用スノープレート	1,920
6角ナット(リトルベア用)	1ヶ 300	8P~14P用スノープレート	2,400
4角ナット(8P~14P用)	1ヶ 300	アルミクリップ小(スノープレート共通)	1ヶ 100
6角穴付皿ボルト	1ヶ 100	アルミクリップ大(8P~14Pフロント用)	1ヶ 100
6角レンチ(リトルベア、8~14P 共通)	1ヶ 200	共通カシメ	1ヶ 20
4P~5P固定バンド	1組 2,300	ジョイント再塗装	1組 500
6P、リトルベア用フロントバンド	1組 1,500	4P、5P、プチドラゴン用ナイロンケース	1ヶ 1,200
8P~14P用フロントバンド	1組 1,500		

- 社式ワイヤー、工賃以外はパーツ価格リストです。お客様がご自分で修理する場合に適宜します。
- パーツ交換を我社に依頼する際は工賃が発生します。丈夫なステンレス製ワイヤーも酷使すると損傷します。ぼろぼろになる前にワイヤー交換をお勧めします。
- 8P~14P社Set出荷時のジョイント交換手数料は無料です。ジョイント代金の差額のみを請求させていただきます。ただし、傷がつき再塗装を要するジョイント返品の場合は塗装代金を加算させていただきます。

年賀状のやまとうた

本誌1月号をお届けした関係各位には年賀状を省略させていただきます。
1月号を渡せなかった方々には年賀状をお届けします。
年賀状に添える「やまとうた」を紹介させていただきます。詠み人は石井貞男です。



めでたやな
龍に守られ
無病息災
富を招いて
商売繁昌

(あーめでたい、めでたい)おはやし
皆様のご多幸を心からお願い申し上げます。

やまのかたりべ

第16章 高尾山その4 大垂水歩道～4号路

高尾梅郷 八王子城跡の南側の旧甲州街道は、八王子城の落城後にこの地域の大官となった大久保長安が甲府地方への主街道を和田峠（現在の陣馬街道）から小仏峠に付け替え、駒木野に関所を定め、江戸時代を通じて諏訪、高遠、甲府方面と江戸を結ぶ重要な道路として、明治時代になって今日の大垂水峠が開削されるまで五街道の一つとなっていました。その後は都道となり、今日では高尾山・八王子城山・小仏峠・景信山などへの登山コースにもなっています。

昭和37年、地元の人たちの発案でこの街道沿いで高尾梅郷の整備が始まりました。その後昭和39年、高尾梅郷協会が設立されて各地の視察や研修を重ね、遊歩道の整備、地元の人々による植樹、剪定、草刈などの手入れが今日まで続けられ、湯の花梅林、天神梅林、関所梅林、小仏梅林、小下沢梅林などが整備されました。今では花時には一万本を超える梅が延長約4Kmの街道沿いに咲き匂います。

早咲きの寒紅梅や冬至梅から遅咲きの豊後系までさまざまな梅が植えられています。高尾の梅林は山間部にあるため平地よりもやや遅く、毎年春のお彼岸のころに満開を迎えます。梅のほかにサンシュユやレンギョウなどの花木も咲きそろう、梅郷梅まつりがにぎやかに開かれます。小仏や小下沢付近は他の梅林に比べてさらに遅めに咲き、長い間楽しむことができます。梅まつりの日時は八王子観光協会までお問合せください。

梅林がある旧甲州街道は国指定史跡の小仏関所跡をはじめ、昔からの街道の風情を残す石垣や石仏、庚申塔などがみられ、道端の林や沢沿いには新緑の季節から秋の紅葉のころまで四季の野草の花が絶えません。八王子城跡や高尾山の散策から足を延ばして見てはいかがでしょうか。

「八王子城跡 遊歩マップ」
——八王子遊歩マップより転載——

ソロ^ロとパーティ^{パーティ} 単独行と複数登山

山歩きが初心者ころは不測の事態を考えて同行者を探したものだ。日常的に山を歩くようになったころグループに所属する。

30年あまり続けたパーティ登山に飽きて単独行をすると、気ままな一人旅ができる。気くばりからも解放される。

屁をしても 笑う人なし 一人旅

単独行では好きな山をいつでも、ほっつき歩ける。同行者に気がねなく、歩き休める。10年以上も単独行を習慣にしていたが、よんどころない事情が生じ、パーティ登山を余儀なくされる。

それでも昔とった杵柄。山やの根性は今も変わらず。チームワークを乱さずに山歩きができる。久しぶりにパーティ登山をするが、それなりに楽しい。

同行者は仲間と信じあう。協調性を持って行動すれば友情も深まろう。

山って本当にいいもんだ。

昔所属していた山岳会はとっくに消滅している。近ごろは久しぶりに同行者探し苦労している。

南麓からの高尾山

高尾山の登路は京王線高尾山口駅の東麓と旧甲州街道沿いの北面からに集中している。そのほとんどのコースを踏破したが、南麓からは登ってない。高尾山にくわしい八王子在住の渋谷も未知

の領域だという。

地図を調べると、R20 沿いの甲州街道沿いの大垂水峠周辺に登山道が集中している。高尾山口からバス 10 分を要すとも明記してある。

インターネットでバスの時刻表を調べる。JR八王子駅北口 9 時 47 分が始発。相模湖行き。JR高尾駅、京王線高尾山口駅を経由して大垂水峠には 11 時 30 分につく。但し、午前中 1 便、午後 1 便の 1 日 1 回の運行である。

ともあれ、そのバスを利用する予定で登山計画を練り直す。初めて参加するかもしれない安達(渋谷と同じ、同級生)は連絡が無いので予定変更を知らせなかった。

大垂水歩道から高尾山

12 月 16 日 快晴

八王子駅前 5 番の相模湖行のバス停留所には見知らぬハイカーと二人でバスを待つ。発車時刻になってもバスが現れない。

「いつも 10 分くらいは遅れますよ」

親切に教えてくれるハイカーに礼を述べ、そんなものかと安堵する。バスは 15 分送れて到着する。

高尾駅前で渋谷が乗り、あてにしてなかった安達が高尾山口駅でぶつぶついいながら、30 人ほどのハイカーと一緒に乗り込む。

大垂水峠バス停につくとハイカー全員が下車して進行方向に歩き始める。5 分で右側に登山口があるのを見つけ、鉄製階段を登って登山道に入る。「学習の歩道」の案内板と地図を読む。他のパーティは全員、その先の車道を前進する。どうやら大垂水歩道「学習の歩道」を登るパーティは私たちだけらしい。ここでプチドラゴンをつける。

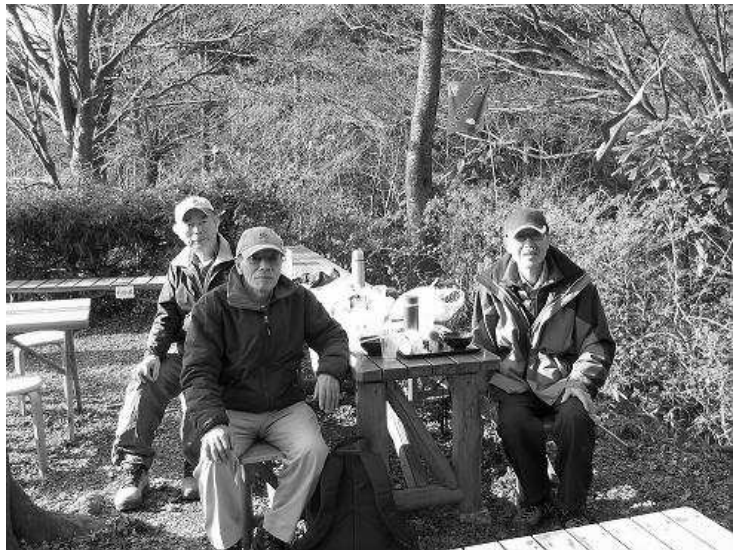
山腹をからむ緩い登りが延々とつづく。倒木をくぐり、またぐ。崩壊地も何ヶ所か通過する。静かで、日当りの良い山歩きを楽しむ。

岩清水に咽を潤し、さらに進むと、前方の稜が同高度となる。やがて一丁平手前の鞍部にとびだす。10 人くらいのハイカーが交差する。右方向の長い階段を登ってモミジ台につき、テーブルを囲んで、ザックを下ろす。

3 人は同級生をあって、近況報告や家族の話をしながら、茶屋自慢のナメコ汁をすすり昼食をすませる。登山者は先月に比べて激減している。冬期は土日でも空いていそうだ。

モミジ台を背に少し下った 4 分岐を直進。石段を急登して高尾山に達する。

ススキの穂
高尾になびく
寒風は
秋のおわりを
ついで彩どり



少し下ったトイレ建設工事現場先の分岐から左方へ下る 4 号路に入る。

4号路、吊橋経由 ケーブル山頂駅へ

木製歩道を 5 分下降、山腹を巻いて吊り橋を渡る。つぎの分岐で左下方に琵琶滝への道を見送る。短い登りで大鳥居手前の表参道にである。

観光客が少ない日は待たずにケーブルに乗れる。プチドラゴン、ステッキをザックに収納しているうちに改札が始まり、出発間際のケーブルカーに駆け込む 3 人とも座って景観を楽しみながら山麓清滝駅へと下山する。

「お歴々、まだ時間は早い。軽く一杯やっつかえりましょか」

2011 年 12 月 18 日 脱稿

		タイム		
JR八王子駅前	10:00	吊橋	14:25	
(津久井神奈交バス相模湖行)		琵琶滝分岐	14:40	
高尾駅	10:12	4号路大鳥居前表参道出合	14:54~15:04	
京王高尾山口	10:29	ケーブル山頂駅	15:00	
大垂水峠バス停	10:45	ケーブル山麓清滝駅	15:05	
大垂水歩道「学習の歩道」出合	10:50~11:00	清滝駅前の蕎麦屋で宴会	15:10~16:15	
岩清水	11:45~11:55	京王線高尾山口駅	16:30	
稜上右山頂 左一丁平分岐出合	12:10~12:20	JR中央線、武蔵野線経由		
モミジ台	12:45~13:40	川口駅	17:55	
高尾山山頂	14:00	帰社	18:40	
4号路分岐	14:05			

パーティ 渋谷、安達、石井



スノーシューズについての要望

- 平成22年にアルミリベットから鉄(3価クロム)リベットに換えた以降、スノーシューズのリベット交換は皆無になりました。輸入品とは強度で大きな違いがでます。
 - 爪をステンレス製で大きく成形加工をしてあります。強度が格段にすぐれています。アイスバーンでの使用時に逆さにする必要はありません。
 - 重量M385g、L390g(片足)、重さも浮力もこれに勝るスノーシューズはありません。
- それでもあなたは輸入品を使いますか。**

強いぞニッポン

スノーシューズM(SN3)

ジュラルミン製
爪はステンレス製 高さ 49 mm
カラー/シルバー バンドは赤色。
サイズ/410 mm×182 mm 重量/770g
冬山ラッセル用。
税込価格/¥10,164

だんとつニッポン

スノーシューズL(SN4)

サイズ/441 mm×182 mm 重量/780g
その他の仕様Mと同じ。
出歯型アイゼンと共用できる。
税込価格/¥10,510



スノーシューズとアイゼンの同時使用法 ——フリクション装着法同様、画期的考案——

○木製ワカンの使用者はアイスバーンではワカンを裏返しに履くようにしていました。理由は左、右の爪が破損しやすいからです。木製ワカンの爪は硬雪に耐えられないほど軟弱でした。弊社のスノーシューズの爪はステンレス製です。さらに成形加工をして強度を高め、片足側だけでもリベットで8ヶ所を固定しています。リベットも昨年から鉄3価クロム製を採用してレベルアップしました。堅牢さは世界一です。スノーシューズはアイスバーンでも裏返しにする必要はありません。そのまま通過できます。

○スノーシューズとアイゼンを同時使用する際は、どちらを先に付けても問題はありません。ただし、アイゼンを履いた下にスノーシューズをつけると、アイゼンの爪がスノーシューズのベルトを傷つけるおそれがあります。写真はスノーシューズの下にアイゼンをつけた例です。(スノーシューズはM、クロモリ14P㊞、フリクション装着法)この方法ではアイゼンの爪の露出度が大きく、安全登山に役立ちます。

